

2024年度（令和6年度）
福山市生涯学習活動費補助金

補助金交付団体 活動報告集

まちづくり推進課

福山市生涯学習活動費補助金交付団体の活動を紹介します

２０２４年度（令和６年度）に、補助金交付団体として決定した８団体の４月～１１月の活動を紹介します。

団体名	ページ
福山市古典芸能保存会	1
福山中央市民大陶芸科（福５Ｃ）	2
瀬戸内アート in 内海	3
福山ミニテニス協会	4
写真クラブ・光彩ふくきた	5
アゴラの会	6
やすらぎの郷楽楽倶楽部	7
幕山ラジオ体操クラブ	8

福山市古典芸能保存会

(1) 団体紹介

福山の無形文化財である「二上がりおどり」や「とんど」文化など永く後世に引き継ぐため、各団体へ「二上がりおどり」の指導やイベントで踊りの披露、とんどの講習会を行っています。

(2) 活動概要

毎月2回、とおり町交流館等での定期練習他、イベント出演前の練習など年30回の練習を実施しています。その他、二上りおどりの指導、イベントなどへ出演、福山の文化を紹介する講習会の開催を行っています。

(3) 活動紹介 ※補助対象期間中 2024. 11 までの1事例

日時：2024年(令和6年)11月19日(火) 9:35～10:20

場所：福山市立東小学校 ランチルーム

内容：小学4年生を対象に「とんど」についての説明

感想等

福山市の伝統芸能を次世代への文化継承の活動の一環として、市内の複数の小学校で出前授業をするなどの活動をされてます。その際には読みがなが振ってあり、子どもでも分かりやすい、福山市古典伝統芸能保存会が作成した「福山とんど」というリーフレットを配布しています。他にも小学校で使用しているタブレットでもとんどの資料が検索できると紹介されました。

質問に対して昔と今の状況を比較しながら分かりやすく説明をされ、子どもたちはメモを取りながら聞き入っていました。「『とんど』という伝統芸能を通して仲間意識が芽生え、町同士が仲良くなる。」「『とんど』を焼く時には、なぜ焼くのかなど、皆さんから是非伝えてほしい。」など、郷土の風習を残していく大切さについて熱心に説明されていました。



福山中央市民大陶芸科（福5C）

（１）団体紹介

陶芸をととして、地域の人との交流と技術の研鑽をはかることと、特に福山市の中部地域に、陶芸をできる環境・機会を増やしていき、芸術活動を通じた地域貢献を行うことを目的に活動しています。

（２）活動概要

毎月第２・４火曜日に、ふくやま美術館の工芸・版画室で陶芸講座を実施しています。また、年１回ふくやま美術館１階ギャラリーにおいて、作品展を開催しています。

（３）活動紹介 ※補助対象期間中 2024. 11 までの１事例

日時：2024 年(令和 6 年)9 月 5 日(木)13：30～14：30

場所：ふくやま美術館 1 階 ギャラリー

内容：陶芸作品展

感想等

この日は、現在活動している 8 人と代表者、招待作家の作品展が開催されました。初心者から経験者まで、それぞれの個性あふれる素敵な作品が展示されました。初めはコーヒーカップやお皿からですが、あとは自分が作りたい物を作ることができ、自分の作品を庭に飾ったりして楽しんでいる人もおられるそうです。普段は、平井さんを中心に陶芸経験者が先生役になり、作品の評価だけでなく、道具の使い方などアドバイスをしながら活動されています。

また、困ったところは相談をしながら、完成後はお互いの作品について感想を伝えあうなど、参加者同士でしっかりコミュニケーションが図られていました。

参加した人からは「丁寧に指導してもらえて、全くの初心者でも時が経つのを忘れるくらい楽しんで参加している。」「先輩の作品を見ていつかは自分も作れるようになりたいとモチベーションが上がる。」などの声が聞かれました。



瀬戸内アート in 内海

(1) 団体紹介

芸術作品を通して人々の価値観や感情に共感するという人間としての心豊かな内面を育むことを目的とし、福山老人大学生をはじめとする出品者の成果発表の場を提供することによって自らの生き甲斐作りに発展するよう活動するものです。

(2) 活動概要

プロからアマチュアまで老若男女 58 人のアーティストが参加して、福山市内海町の田島と横島で芸術作品を展示。

(3) 活動紹介 ※補助対象期間中の 1 事例

内容：芸術作品展示

日時：2024 年(令和 6 年)4 月 19 日(金)～5 月 12 日(日)の間の

金・土・日、祝日

午前 10 時から午後 4 時 (計 13 日)

場所：内海市民交流センター…切り絵作品

長澤邸…福山老人大学生の絵画作品、インスタレーション、彫刻作品

画廊喫茶“絵とお茶テレレ”…絵画

ふくろうの花畑…版画作品

感想等

各会場を訪れてくださった来館者の人に対し丁寧に説明を行ったところ、多くの方から「いろいろ勉強になった」「感動した」などの声が聞かれました。



福山ミニテニス協会

(1) 団体紹介

生涯スポーツとして開発されたミニテニスの普及とミニテニスで健康の増進と会員相互の交流を図ることを目的に、毎週月曜日に練習やミニテニス体験会を、年1回技術研修会や審判研修会を実施し、年5回初心者大会を行っています。

(2) 活動概要

開催日：毎週月曜日 20：00～22：00、エフピコアリーナふくやまを会場に「ミニテニスで健康寿命を延ばそう」を合言葉にミニテニス体験会を行っています。

(3) 活動紹介 ※補助対象期間中の1事例

ミニテニスは、テニス用を小さくしたラケットとビニール製のカラフルなボールを使用して、バトミントンコートでプレーします。全てワンバウンドしたボールを相手コートに返し、ダブルスで試合を行います。年齢や体力に合わせてゲームを楽しむことができるニュースポーツの一つです。

感想等

取材に行った日は、7人が参加され、2人の指導者とともに2時間汗を流しました。始めの会、準備運動、打ち方の練習のあと休憩をはさみ、試合を楽しみました。あっという間に時間が過ぎ、終わりの会の後、体育館のモップ掛けや後片付けも手際よくみなさんこなしていました。合間の休憩中の歓談も楽しい時間です。いつもより参加者が少なかったようで、フル活動されていました。長期休みや学校が休みの日の前日には、小学生の参加もあるそうです。

参加した人からは「他のスポーツをしていたが、ミニテニスは体力に応じてできるので楽しく参加している。」「ミニテニスのことをもっと知ってもらって、仲間が増えればいいと思う。」などの声が聞かれました。



写真クラブ・光彩ふくきた

(1) 団体紹介

自然の風景・各種イベントなどを撮影する喜びとやる気を醸成し、健康で活力のある生活をめざすことや、写真展を開催し、自然の美しさ、様々なイベントの面白さを来場者へ感じてもらい、その地域への関心を高めることで地域の活性化を行うこと、来場者とのコミュニケーションをとおして新たな交流を図ることを目的に活動しています。

(2) 活動概要

月2度の例会で各自が撮った写真を持ち寄り評価し合い、講師の先生の講評を受けています。また、年に2回ほどフィールドワークを行い、写真の勉強をしています。

(3) 活動紹介 ※補助対象期間中 2024. 11 までの1事例

日時：2024年(令和6年)10月16日(水)～10月21日(月)

場所：天満屋福山店 3階催事場

内容：写真展

感想等

光彩ふくきたは結成から24年が経過し、写真展は今回で21回目。訪問時点までに約470人の来場者がありました。シフトを組んで会員が交代で受付と写真の解説を行っていました。天体写真等もあり、質問があった際に答えられるよう、各写真について撮影者の考えやポイント、被写体の情報を載せた冊子を準備されていました。写真展では、15人の会員が1人2枚ずつ自由テーマで国内外の写真を展示していました。

参加者からは「写真展について、いろいろな方に来ていただけるように案内はがきを友人等に送るほか、来場記録を書いてもらいそこに案内を送っている。」「親睦を深めることが第一だが、講師の先生に見てもらえることで写真の技術向上につながっている。」などの声が聞かれました。



アゴラの会

(1) 団体紹介

地域の芸術活動を身近なものにするため、安価で、地域の美術愛好家に体験してもらい、脳の活性化をはかり、思考力・創造力を養い、ボケ防止・健康促進に役立てる事をめざしています。

(2) 活動概要

月1回(10:00~15:40)、駅家西交流館を会場に、モデルを呼んで人物デッサンをしています。現在の会員は19人。新しい人も入ってきています。

2回連続同モデル同ポーズ同コスチュームで絵を描く班と、1回ずつモデル、ポーズ、コスチュームが変わり絵を描く班の2つの班で構成されており、1~2か月かけて完成させる人もいます。年1回、ふくやま美術館で展示会をしています。

(3) 活動紹介 ※補助対象期間中 2024.11 までの1事例

日時：2024年(令和6年)10月21日(月)

場所：駅家西交流館 大会議室

内容：人物デッサン

感想等

参加者が、思い思いの手法、思い思いの感性で人物画を描いており、顔の表情や服装等それぞれ違ったものを描かれていた。20分描いたら10分休憩を繰り返し、描写中は、絵筆の動く音のみで真剣に描かれていた。休憩中には、お互いの絵を鑑賞しながら、会話が弾んでいました。

参加者からは「お互いに指摘や批判はなく、思い思いに好きなように描けて、相談しながら、時には良いと思うことをまねして勉強になる。」「最高齢89歳の方も参加しており、絵を描くことで若さをキープでき、生きがいになっている。年をとっても長いスパンで続けられる。」などの声が聞かれました。



やすらぎの郷楽楽倶楽部

(1) 団体紹介

高齢者の活躍する機会やふれあいの場を増やし、楽しく生きがいをもって仲間づくりをすることを目的にしています。また、自然豊かな地域にある史跡などを、次世代につなげるために資料収集・現地視察・保全活動を行い、観光リーフレットの作成までを目標としています。

(2) 活動概要

うつみ市民交流センター、内海町田島西部地域、内海町横島地域を会場に毎月第1火曜日の定例会、年6回の資料収集や現地視察、年2回の親睦会を行っています。

(3) 活動紹介 ※補助対象期間中 2024. 11 までの1事例

日時：2024年(令和6年)9月22日(日)9:30～11:30

場所：内海町田島西部地域

内容：お大師さまめぐりの巡拝

感想等

この日は、97歳の会員も参加し内海町田島地域にある「八十八か所巡り」のうち、12か所を巡りました。田島宮脇山八幡神社では、無病息災を願い「百手(もて)神事」という、田島地域から選ばれた人が的に弓を射て競う行事が現在もあるそうです。また、水野神社(大西頭荒神社)では、福山城藩主の水野家と阿部家の家紋が刻まれている立ちおもだかと鬼瓦が残っていました。大浦の釈迦堂内には福山市指定重要文化財の木造釈迦如来坐像を安置していました。

参加者からは「この地域に住んでいても初めて知ることがありました。歴史を感じる文化財もたくさんあって感動しました。」「こんなふうにみんなで一緒にこれて嬉しかった。次も参加して学習していきたいです。」などの声が聞かれました。



幕山ラジオ体操クラブ

(1) 団体紹介

毎朝のラジオ体操実施の中で、日常生活の中で情報の共有化を図りながら、お互いの健康チェックや安否確認を行って健康を維持しています。情報交換を中心に、人とのつながりを築いています。また、小学生との交流や、隣近所との声の掛け合いで安心安全、地域の活性化につなげています。また、公園周辺の清掃や草取りなどの環境整備も行っています。

(2) 活動概要

毎日6時30分から、幕山学区内および周辺近隣地域（幕山台中央公園）でラジオ体操や小学生への昔遊び指導やボランティア活動（環境整備や子どもへの指導）を行っています。

(3) 活動紹介 ※補助対象期間中 2024.11 までの1事例

日時：2024年(令和6年)9月10日(火)8:30～11:30

場所：幕山台中央公園

内容：フリスビー大会の運営等

感想等

今回は、毎日のラジオ対象に加えて毎年実施している『第37回フリスビー大会』（福山市ラジオ体操連盟主催）に参加された際の活動紹介です。

当日までの準備、当日の準備、運営と実際の競技も行っていました。競技は真剣に休憩中は和気あいあいと、参加者はみなさん生き生きと元気に動かれていました。猛暑での実施だったので、休憩用の飲み物等も準備し、声を掛け合いながら随所で笑顔が見られました。

参加者からは「声をかけてもらってラジオ体操を始めて、健康的になり交流もできて良かった。」「定年後に、家に閉じこもるだけでなく、行く場所があることが張り合いになる。」などの声が聞かれました。



【問 合 せ 先】

福山市市民局まちづくり推進部まちづくり推進課

福山市東桜町３番５号 福山市役所９階

電 話 （ ０ ８ ４ ） ９ ２ ８ － １ ２ ４ ３

F A X （ ０ ８ ４ ） ９ ２ ８ － １ ２ ２ ９